



レポートにマルチテナンシーを設定しています OnCommand Insight

NetApp
April 01, 2024

目次

レポートにマルチテナンシーを設定しています	1
ユーザアカウントの設定	1
ビジネスエンティティへのユーザの割り当て	2

レポートにマルチテナンシーを設定しています

OnCommand Insight Data Warehouseでは、ユーザを1つ以上のビジネスエンティティに関連付けることで、Reportingでマルチテナンシー（「マルチテナンシー」または「マルチテナンシー」と略されることがあります）に対応します。この機能を使用すると、管理者は、ユーザー属性またはユーザーの所属に応じてデータまたはレポートを分離できます。

ビジネスエンティティでは、容量チャージバックの目的で次の値を使用して階層を使用します。

- テナント：主にサービスプロバイダがリソースをお客様（ネットアップなど）に関連付けるために使用します。
- 基幹業務（LOB）：企業内の基幹業務（「ハードウェア」や「ソフトウェア」など）。
- Business Unit：「Sales」や「Marketing」などの従来のビジネスユニット。
- Project：容量チャージバックを割り当てるプロジェクト。

マルチテナンシーを設定するプロセスの主な手順は次のとおりです。

- Data Warehouseユーザアカウントを設定
- Reporting Portalでグループを作成します。
- ユーザを1つ以上のグループ（ビジネスエンティティ）に割り当てます。
- ユーザを1つ以上のビジネスエンティティに割り当てます。たとえば、「NetApp」に関連付けられているユーザは、テナントとして「NetApp」を持つすべてのビジネスエンティティにアクセスできます。
- ユーザが表示する必要があるレポートのみを表示できることをテストします。

次の点は、ユーザがレポートデータにアクセスする方法をまとめたものです。

- どのグループにも割り当てられていないユーザは、すべてのデータにアクセスできます。
- どのグループにも割り当てられているユーザは、ビジネスエンティティがないとレコードにアクセスできません。

たとえば、次の部門があり、これらの部門内のユーザに対してレポートを分離する必要があるとします。

ユーザ	エンジニアリング	サポート	財務	法律
ユーザ 1	X	X		
ユーザ 2			X	X
ユーザー3		X		

ユーザアカウントの設定

ユーザアカウントを設定するには、いくつかの手順を実行する必要があります。


手順

1. Data Warehouseポータルにログインします `https://hostname/dwh`、ここで `hostname` は、OnCommand Insight Data Warehouseがインストールされているシステムの名前です。
2. 左側のナビゲーションペインで、*[ユーザ管理]*をクリックします。
3. 各ユーザアカウントを設定します。

ビジネスエンティティへのユーザの割り当て

ビジネスエンティティにユーザを割り当てるには、一連の手順を実行する必要があります。Data Warehouseでは、ユーザを1つ以上のビジネスエンティティに関連付けることで、Reportingでマルチテナンシー（「マルチテナンシー」または「マルチテナンシー」）に対応できます。これにより、管理者は、ユーザの属性または所属に応じてデータまたはレポートを分離できます。

手順

1. Data Warehouseポータルに管理者としてログインします `https://hostname/dwh`、ここで `hostname` は、OnCommand Insight Data Warehouseがインストールされているシステムの名前です。
2. Data Warehouseツールバーで、をクリックします  をクリックしてReporting Portalを開きます。
3. ユーザー名とパスワードを入力し、* Login *をクリックします。
4. [Launch]メニューから、*[IBM Cognos Administration]*を選択します。
5. [セキュリティ]タブをクリックします。
6. ディレクトリで、* cognos *を選択します。
7. Cognosフォルダに、ビジネスエンティティ用の新しいサブフォルダ「BEs」を作成します。
8. BEsフォルダを開きます。
9. [新しいグループ]*アイコンをクリックして、さまざまな権限レベルに対応するグループを追加します。

権限レベルには、ビジネスエンティティのフルネーム（`netapp.N/A`など）またはプレフィックス（`netapp.N/A.Finance`など）を指定できます。どちらの形式でも、ビジネスエンティティ（`NetApp.N/A.Finance`）内のすべてのプロジェクトにアクセスできます。

[New Group]ウィザードが表示されます。

10. ウィザードの各ページに情報を入力します。
11. ビジネスエンティティを選択し、*[詳細]*をクリックします。
12. [メンバーの設定]*をクリックします。
13. [追加（Add）] をクリックします。
14. SANscreen ディレクトリを選択します。
15. ユーザのリストから、ビジネスエンティティに含める各ユーザを選択し、[Selected Entries]ボックスに追加します。
16. [OK] をクリックします。

17. 同じ手順を繰り返して、各ビジネスエンティティグループにメンバーを追加します。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。